

わたしのとっておき ~会員の趣味等の紹介コーナーです~

へボ画伯?のつぶやき

早川 嘉美

絵を描き始めて20年。きっかけはメンタル指導を受けていた尼僧に「お不動さんを描きなさい」と言われたことから。

ある日、アクシデントでアキレス腱断裂の重傷。緊急手術、入院。折から12月、忘年会シーズンとあってスケジュールがぎっしり。これをすべてドタキャンしても叱られることはない。

チャンス到来とばかりにスケッチブック、画題となる写真、冊子を持ち込んで、3日後に恐る恐る鉛筆を動かしてみた。



当時もっとも可愛がっていた孫を描いてみると予想を超えてうまく描けた(つもり)。

これで目覚めた?のか、2週間

間の入院中に14の濫作。絵の心得のある友人に見せて評価を仰ぐと「うまい。じょうずに描けている」と言ってばかりで、ホンネを聞き出せない。「ちょっとぐらいうまくなりたいので頼むから教えてくれ!」と何度も頼み込んだところ、それでは、と渋々言い出してくれたが、これがボロボロ。もうええわと言いたくなったがうれしかったですね~



天使の孫兄妹；この兄妹 今では20歳、18歳で、4月には二人とも大学生です。

聞いたことを少しでも直そうと心掛けて描き、さらに意見を求めていくようになった。

左下の絵は数年後の作品。

次にばかばかしい絵をお見せします。好き勝手に自己満足で描いているへボ日曜画伯?だからこそ、取り上げる画題でしょう。



浜松にて；羅漢さんを求めて浜松に出かけた折のスナップに加工してみました。

ボクの今の思いは内面を表現した仏画です。

そういう意味で、羅漢さんが面白い。達観の域に達しようかという羅漢さん。悟りにまるで近かずかず、自分に腹を立てている羅漢さん。遊びの域に達した羅漢さん。自分のふがいなさを嘆いている羅漢さん等々。

その心で描いた第1作が、赤山禅院の羅漢さんですが、皆さんの評価はいかがでしょうか。

